

(公 印 省 略)
こせ第30204-1号
平成28年7月28日

一般社団法人 群馬県精神保健福祉士会会長 様

群馬県こころの健康センター
所長 浅見 隆康

「平成28年度ゲートキーパー養成研修会」の開催について

日頃から、当センターの精神保健福祉業務につきましては、御理解御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、自殺対策の重点事項であります人材育成事業（ゲートキーパー養成）の推進を目的に標記研修会を別添開催要項に基づき開催いたしますので、下記のとおり御案内します。

記

- 1 開催日時
第1回：平成28年 9月13日（火）午前9時～午後5時
第2回：平成28年 9月29日（木）午前9時～午後5時
第3回：平成28年11月14日（月）午前9時～午後5時
*受付は8時45分から開始します。内容は3回とも同じです。
- 2 会場
第1回・第2回：健康づくり財団6階大会議室（前橋市堀之下町16-1）
第3回：群馬県こころの健康センター別棟会議室（前橋市野中町368）
- 3 内 容
自殺危機初期介入スキル研究会開発の「自殺危機初期介入スキルワークショップ」を実施
・「自殺危機初期介入スキルワークショップ」は、自殺危機にある人への初期介入に必要なスキルを身につけるワークショップです。
・討議やロールプレイなどに参加し、実際の場面で初期介入ができる具体的なスキルを身につけます。
- 4 講師
自殺危機初期介入スキル研究会認定講師（事務局：ルーテル学院大学）
・メイン講師
福島喜代子先生（ルーテル学院大学 総合人間学部教授）
・サブ講師
自殺危機初期介入スキル研究会認定講師
- 5 対象者
① 相談業務に従事する保健福祉職員
② 業務等において自殺危機にある人と接する機会がある職員
③ 地域におけるゲートキーパー養成研修の講師又は講師となる予定がある者
- 6 定 員 : 各20名
- 7 申込期日及び申込方法
・受講日の1日を選択し、各期日までに別紙様式にて担当あてFAX又はメールで申し込みください。

担 当：企画研修係 山田
電 話：027-263-1166
FAX：027-261-9912
E-mail：yamada-yuki@pref.gunma.lg.jp

【別紙様式】

群馬県こころの健康センター企画研修係 山田あて
 *申込期限 第1回： 8月30日(火)
 第2回： 9月15日(木)
 第3回：10月31日(月)
 F A X 027-261-9912
 E-mail yamada-yuki@pref.gunma.lg.jp

「平成28年度ゲートキーパー養成研修会」参加申込書

以下のとおり参加を申し込みます。

平成 年 月 日

所属機関名 _____
 申込責任者 _____
 連絡先電話 _____
 F A X _____

※ 研修は全て同じ内容です。第1希望日に○を、参加可能日に△をつけてください。
 申込み多数で受講できない場合は、研修日1週間前までに連絡します。
 連絡がない場合は、当日会場までお越しく下さい。

研修希望日	所属課・係	職種	氏名	担当業務
9月13日(火)				
9月29日(木)				
10月14日(月)				
9月13日(火)				
9月29日(木)				
10月14日(月)				
9月13日(火)				
9月29日(木)				
10月14日(月)				
9月13日(火)				
9月29日(木)				
10月14日(月)				

平成28年度ゲートキーパー養成研修会開催要項

1 研修目的

自殺対策における人材育成事業（ゲートキーパー養成）の推進を図ることを目的として、自殺の危機にある人への初期介入スキルを習得するための研修会を開催します。

2 主催：群馬県こころの健康センター

3 研修内容

(1) 開催日時（3回とも同じ内容になります。）

第1回：平成28年 9月13日（火）午前9時～午後5時

第2回：平成28年 9月29日（木）午前9時～午後5時

第3回：平成28年11月14日（月）午前9時～午後5時

※受付は8時45分開始、終了は参加人数により遅延する場合があります。

(3) 開催会場

第1回・第2回：健康づくり財団6階大会議室（前橋市堀之下町16-1）

第3回：群馬県こころの健康センター別棟会議室（前橋市野中町368）

(4) 講義・演習内容

自殺危機初期介入スキル研究会開発「自殺危機初期介入スキルワークショップ」

第1セッション：導入、自殺に関する事実の確認

第2セッション：自殺に関するさまざまな考え、信念

第3セッション：サインに気づく

第4セッション：理解を深め、生きる理由を探る

第5セッション：危険性をはかる

第6セッション：安全確保、支える仲間へつなげる、フォローアップ

第7セッション：ふりかえり、セルフケア

(5) 講師

自殺危機初期介入スキル研究会認定講師（事務局：ルーテル学院大学）

・メイン講師

福島喜代子先生（ルーテル学院大学 総合人間学部教授）

・サブ講師

毛塚和英先生（桜ヶ丘記念病院医療相談室 精神保健福祉士）

山田 行子主幹（群馬県こころの健康センター 保健師）

(6) 対象者

① 相談業務に従事する保健福祉職員

② 業務等において自殺危機にある人と接する機会がある職員

③ 地域におけるゲートキーパー養成研修の講師又は講師となる予定がある者

(7) 定員：各20人（原則、先着順とし、同一所属で複数の申込がある場合は調整します。）

※定員を超えた場合、お断りする方のみ研修日1週間前（水）に個別に連絡します。

(8) 参加費：無料

4 申込期日及び申込方法

第1回： 8月30日（火）

第2回： 9月15日（木）

第3回： 10月31日（月）

別紙様式によりFAX又はメールでの申し込みとします。

5 注意事項

(1) 3回とも同じ内容の研修です

(2) 講義は1日の参加とし、遅刻及び途中退出はできません。

※20分以上遅刻した場合は、参加をお断りします。

(3) 昼食は、各自で事前にご用意ください。

(4) 駐車スペースが限られているため、乗り合わせでの来場にご協力ください。

大切な命を守るためにできること

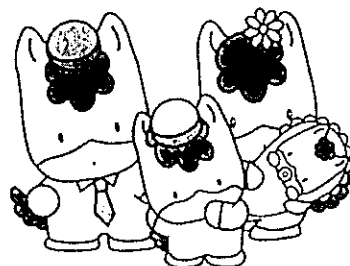
～声をかけ、耳を傾け、そして相談を～

県内の自殺の状況

群馬県の自殺者数は、平成10年に急増し、以降は毎年500人前後で推移してきました。平成27年の自殺者は418人で、一日1人以上の方が自殺で亡くなっています。同年の交通事故による死者(68人:群馬県警)の約6倍であり、依然として大きな社会問題となっています。

世代別の状況

自殺者の約4割が60歳以上の高齢者です。しかし、15歳～39歳(男性は44歳)では、自殺が死因の第1位を占めており、若い世代でも大きな問題となっています。



講師派遣について

こころの健康センターでは、各所属等で企画する自殺予防の研修を支援しています。開催のご希望がありましたら、下記までお問い合わせください。

講師の育成について

今回開催する研修会は、自殺の初期介入について具体的なスキルを学習する実践的な内容です。そのため、少数制の講座となっており希望者全員が受講できないことがあります。

この研修を受講後に、自殺危機初期介入スキル研究会のリーダー研修を受講することで講師として同様の研修会を開催することができます。詳細は研究会のホームページを参照ください。

<http://jisatsu-kainyu-ken.blogdehp.ne.jp/>

問合せ先:群馬県こころの健康センター
企画研修係
電話:027-263-1166